

^{きら}
青の煌めきあおもり国スポ・障スポ実行委員会
第 18 回総務企画専門委員会 結果概要

1 日 時

令和 7 年 6 月 30 日（月） 13：30～14：00

2 場 所

青森県庁北棟 709 会議室

3 出欠状況

出席者 14 名（うち代理出席 2 名）

欠席者 2 名

4 議事概要

（1）説明・報告事項

青の煌めきあおもり国スポ・障スポ準備経過

事務局から説明・報告。質疑等はなし。

（2）審議事項

①青の煌めきあおもり国スポ・障スポ「昭和 100 年記念」の冠称の制定について（案）

事務局から説明。原案どおり可決。質疑等は以下のとおり。

【宇野委員長】

来年が昭和 100 年となることは既知の事実ですが、なぜこのタイミングで依頼があったのか、どのような経緯があったのかを教えてくださいと思います。

【事務局】

超党派議連からの要望により、令和 6 年 7 月に内閣官房に昭和 100 年関連施策推進室が設置され、同年 12 月に関係府省連絡会議が設置され、基本的な考え方や方向性等をとりまとめたと同っております。本県に対しては、令和 7 年 4 月に内閣官房の昭和 100 年関連施策推進室及び総務省の連名で依頼があったものです。

【宇野委員長】

現在、内閣官房で選定作業を進めるロゴデザインの使用も想定とありますが、今後、ロゴデザインができた際は、活用についての依頼等を行う予定でしょうか。

【事務局】

当局では、資料5 ページ下部のイメージ図のように、文字の使用を想定しております。また、現在、内閣官房でロゴデザインを募集しており、デザインが決定した際はロゴデザインの使用も想定しております。これらに関しては、国スポ・障スポのホームページ、冊子、看板及び装飾等の可能な範囲で表示することを考えております。また、市町村に対しても、同様に、可能な範囲で協力いただくような依頼をする予定です。

②青の煌めきあおもり国スポ・障スポ文化プログラムについて（案）

③青の煌めきあおもり国スポ・障スポ文化プログラム実施要項改正について（案）

一括審議とし、事務局から説明。原案どおり可決。質疑等は以下のとおり。

【宇野委員長】

資料の 22、23 ページに掲載されたロゴマークは、青白のシンプルなロゴマークで、会議資料表紙のロゴマークはカラーのロゴマークとなっていますが、今回改正する文化プログラムのロゴマークは青白のシンプルなものということではよろしかったでしょうか。

【事務局】

そのとおりです。

【宇野委員長】

このタイミングでロゴマークを変更するとなると、切り替えの際に少し混乱が生じる不安があります。切り替えについては新旧のロゴマークが混在するのはやむを得ないということでしょうか。

【事務局】

本日ご審議いただいた文化プログラム事業が国民スポーツ大会委員会で承認された後、各事業者へ文化プログラム事業の認定通知を行います。この通知においてロゴマークの使用についてもお知らせすることとしており、各事業者がロゴマークを使用できるのは通知後となることから、現時点で従来のロゴマークを使用している例はなく、混乱等は生じないものと考えます。

（３）その他

【宇野委員長】

今日の審議事項ではありませんが、ボランティア関係について、確認させていただきます。先日、新聞報道等で弘前市のボランティア募集がなかなか集まっていなかったと取り上げられました。スポーツ協会でも青森市が作成したボランティア募集のチラシを設置し、ま

た、日本スポーツ協会（J S P O）でもボランティアに関するワーキンググループを立ち上げていますが、ボランティア問題は非常に難しいと実感しております。ボランティア募集にあたっての今後のお考えについて教えてください。

【事務局】

県と市町村それぞれのボランティアの登録人数を取りまとめたものがありますので、お知らせします。県のボランティアは、広報ボランティアと運営ボランティアという2種類のボランティアについて募集しております。広報ボランティアは、現時点で200人の募集に対して124人が登録されております。運営ボランティアは総合開・閉会式、障スポ開・閉会式又は競技運営に携わっていただくボランティアで、国スポ・障スポ合わせて2,800名を募集しており、現在、1,780名登録していただいております。また、聴覚障がい者への情報提供を行う障スポの情報支援ボランティアは、手話の方が400名の募集に対して349名、筆談の方が200名の募集に対して52名の登録となっています。

次に市町村についてです。青森市、弘前市、八戸市のボランティア登録状況も確認したところ、500名の募集に対して数十名という状況でした。県のボランティアに登録された方に対して、登録時に、市町村への登録情報提供について同意を確認する欄を設けております。各市町村へも情報提供を行い、各市町村のボランティアにも登録いただくよう進めていきたいと考えています。